

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第3区分

【発行日】平成22年7月1日(2010.7.1)

【公表番号】特表2009-536231(P2009-536231A)

【公表日】平成21年10月8日(2009.10.8)

【年通号数】公開・登録公報2009-040

【出願番号】特願2009-508248(P2009-508248)

【国際特許分類】

C 0 9 C	3/06	(2006.01)
A 6 1 K	8/29	(2006.01)
C 0 9 C	1/00	(2006.01)
C 0 9 D	7/12	(2006.01)
C 0 9 D	201/00	(2006.01)
C 0 9 D	11/02	(2006.01)
A 6 1 K	8/19	(2006.01)
A 6 1 K	8/25	(2006.01)
A 6 1 Q	19/10	(2006.01)
A 6 1 Q	1/10	(2006.01)
A 6 1 Q	19/00	(2006.01)
A 6 1 Q	5/00	(2006.01)
A 6 1 Q	1/00	(2006.01)
A 6 1 Q	1/04	(2006.01)
A 6 1 Q	17/04	(2006.01)
A 6 1 Q	3/02	(2006.01)
A 6 1 Q	5/02	(2006.01)
A 2 3 L	1/275	(2006.01)

【F I】

C 0 9 C	3/06
A 6 1 K	8/29
C 0 9 C	1/00
C 0 9 D	7/12
C 0 9 D	201/00
C 0 9 D	11/02
A 6 1 K	8/19
A 6 1 K	8/25
A 6 1 Q	19/10
A 6 1 Q	1/10
A 6 1 Q	19/00
A 6 1 Q	5/00
A 6 1 Q	1/00
A 6 1 Q	1/04
A 6 1 Q	17/04
A 6 1 Q	3/02
A 6 1 Q	5/02
A 2 3 L	1/275

【手続補正書】

【提出日】平成22年5月7日(2010.5.7)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

少なくとも2つの成分AおよびBからなる顔料混合物であって、

成分Aが、

(A)モル比が1:0.5~1:2.0のTiO₂とFe₂O₃の混合物、ならびに場合により、層(A)を基準として<20重量%の量の1以上の金属酸化物からなる高屈折率コーティングと、

(B)n<1.8の屈折率を有する無色コーティングと、

(C)n>1.8の屈折率を有する無色コーティングと、

(D)n>1.8の屈折率を有する吸収性コーティングと、場合により、

(E)外側保護層と

を含む層配列を有する多層コートのフレーク状基材に基づく効果顔料を含み、

成分Bが、無機顔料、有機顔料、染料、着色性天然果実、および/または植物抽出物の群から選択される着色剤、および/またはフレーク状、針状、球状、もしくは不規則形状の粒子からなる增量剤を含む

ことを特徴とする顔料混合物。

【請求項2】

成分Aの効果顔料が、以下の層構造、

基材+Fe₂O₃/TiO₂+SiO₂+TiO₂+Fe₂O₃/TiO₂、

基材+Fe₂O₃/TiO₂+SiO₂+TiO₂+Fe₂O₃、または

基材+Fe₂O₃/TiO₂+SiO₂+TiO₂+SiO₂+Fe₂O₃/TiO₂

を有することを特徴とする、請求項1に記載の顔料混合物。

【請求項3】

成分Aのフレーク状基材がTiO₂またはSiO₂の層で被覆されることを特徴とする、請求項1または2に記載の顔料混合物。

【請求項4】

成分Aの効果顔料が、以下の層構造、

基材+TiO₂+Fe₂O₃/TiO₂+SiO₂+TiO₂+Fe₂O₃/TiO₂、または

基材+TiO₂+Fe₂O₃/TiO₂+SiO₂+TiO₂+Fe₂O₃

を有することを特徴とする、請求項1から3のいずれか一項に記載の顔料混合物。

【請求項5】

成分Aの効果顔料の層(A)のTiO₂対Fe₂O₃のモル比が1:1であることを特徴とする、請求項1から4のいずれか一項に記載の顔料混合物。

【請求項6】

成分Aの効果顔料の層(D)のTiO₂対Fe₂O₃のモル比が1:1であることを特徴とする、請求項1から5のいずれか一項に記載の顔料混合物。

【請求項7】

成分Aの効果顔料の層(A)が、疑似板チタン石、または疑似板チタン石とTiO₂もしくは疑似板チタン石とFe₂O₃の混合物の層であることを特徴とする、請求項1から6のいずれか一項に記載の顔料混合物。

【請求項8】

成分Aの効果顔料の層(D)が、疑似板チタン石、または疑似板チタン石とTiO₂もしくは疑似板チタン石とFe₂O₃の混合物の層であることを特徴とする、請求項1から7のいずれか一項に記載の顔料混合物。

【請求項9】

成分Aの効果顔料の層(A)および(D)がそれぞれ、疑似板チタン石、または疑似板

チタン石と TiO_2 もしくは疑似板チタン石と Fe_2O_3 の混合物の層であることを特徴とする、請求項1から8のいずれか一項に記載の顔料混合物。

【請求項10】

成分Bの着色剤が、成分Aとは異なる真珠光沢顔料、多層顔料、および/または干渉顔料、あるいはそれらの混合物であることを特徴とする、請求項1から9のいずれか一項に記載の顔料混合物。

【請求項11】

成分Aおよび成分Bが混合比99:1~50:50で混合されることを特徴とする、請求項1から10のいずれか一項に記載の顔料混合物。

【請求項12】

成分Aおよび成分Bが混合比99:1~1:99で混合され、成分Bが增量剤であることを特徴とする、請求項1から10のいずれか一項に記載の顔料混合物。

【請求項13】

層配列(IL)、(A)~(D)、または(IL)(A)~(E)
(IL) TiO_2 の高屈折率コーティング、
(A)モル比が1:0.5~1:2.0の TiO_2 と Fe_2O_3 の混合物、ならびに場合により、層(A)を基準として<20重量%の量の1以上の金属酸化物からなる高屈折率コーティング、
(B)n<1.8の屈折率を有する無色コーティング、
(C)n>1.8の屈折率を有する無色コーティング、
(D)n>1.8の屈折率を有する吸収性コーティング、および場合により、
(E)外側保護層
を有することを特徴とする、多層コートのフレーク状基材に基づく効果顔料。

【請求項14】

以下の層構造、
基材+ TiO_2 + Fe_2O_3 / TiO_2 + SiO_2 + TiO_2 + Fe_2O_3 / TiO_2 、または
基材+ TiO_2 + Fe_2O_3 / TiO_2 + SiO_2 + TiO_2 + Fe_2O_3
を有することを特徴とする、請求項13に記載の効果顔料。

【請求項15】

Fe_2O_3 と TiO_2 の混合物が、疑似板チタン石、または疑似板チタン石と TiO_2 もしくは疑似板チタン石と Fe_2O_3 の混合物であることを特徴とする、請求項13または14に記載の効果顔料。

【請求項16】

塗料、コーティング、印刷用インク、プラスチック、化粧品配合物、ならびに食品および医薬製品における、請求項13から15のいずれか一項に記載の効果顔料の使用。

【請求項17】

化粧品配合物ならびに食品および医薬製品における、請求項1から12のいずれか一項に記載の顔料混合物の使用。

【請求項18】

顔料混合物が芳香物質および/または甘味料と組み合わせて使用されることを特徴とする、食品および医薬製品における、請求項1から12のいずれか一項に記載の顔料混合物の使用。

【請求項19】

請求項1から12のいずれか一項に記載の顔料混合物を含む配合物。

【請求項20】

請求項1から12のいずれか一項に記載の顔料混合物を、配合物全体を基準として0.01~99重量%の量で含む配合物。

【請求項21】

水、ポリオール、極性または非極性の油、脂肪、ワックス、膜形成剤、ポリマー、コポリマー、界面活性剤、遊離基捕捉剤、酸化防止剤、安定化剤、香気増強剤、シリコーン油

、乳化剤、溶媒、保存料、増粘剤、レオロジー添加剤、香料、紫外線吸収剤、表面活性補助剤、および／または化粧品活性化合物をさらに含むことを特徴とする、請求項1から12のいずれか一項に記載の顔料混合物を含む、請求項19または20に記載の配合物。